

自然観察日誌

【その一】

一昨年10月頃だったでしょうが、塚脇のかじか荘と西の川原橋の間の芥川の中洲に、猪のうりんぼが棲みつきました。毎日土手を散歩する人が集まっていれば、必ずその前の川床に土を掘り起こして何かをむさぼり食う猪がいて、「可愛い、可愛い」と人気でした。猪は生後3・4ヶ月まで横縞模様があり、山の中で外敵に見つかりにくくする為と言われますが、



お昼寝うりんぼ

川床にいるうりんぼはかえって存在がはつきりしていません。お正月頃は少し横縞が薄れ、丸々と太って写真のごとくすやすやとお昼寝、なかなか和やかな景色でした。でも農家の方は勿論の事、すぐ横で家庭菜園をする私達には戦々恐々でした。すでに山側の黄金の里では猪やアナグマの被害がでていました。

ある日幸いなことに川原に降りた犬に追いかけられて、猪突猛進(いや逃走)して姿がみえなくなりほっとしてしまいましたのに、1・2週間もすればもと通り、同じ場所に戻ってきました。その中、お菓子やパンを与える人が出てくる始末。その頃マスコミでは全国の被害を報道していたからでしょうか。通報があったのか警察が動き出し、猟友会の人も出て遂にうりんぼから成犬ならぬ成猪になった猪は川床から姿を消しました。

手負い猪(ておいじし)

果てし所へ手を合わす人間と野生動物が共存出来る方法はないものでしょうか？最近聖ヶ丘の奥の山辺付近で数頭の鹿を見たというニュースを聞きました。
鹿さんく神峯寺周辺より下の人里に下りて来ないで！

【その二】

私は殆ど毎日かじか荘近くの家庭菜園に出かけます。台所から出るゴミを畑のコンポストに入れるのが日課です。3ヶ月もすれば良い

堆肥になりますし、ゴミ減量と主人との会話、自然観察など一石数鳥にもなる事を願って続けています。冬の最中、農具の下で凍えそうになっていたバツタを救出してきて、ガラス容器に入れて約1ヶ月も室内で飼育しています。これもなかなか元気が。元の場所に戻してやる時期がやってきました。田の畔道にはたんぼぼやいぬのふぐりが春の陽ざしを精一杯受けようと花びらを広げています。



福寿草

春は直ぐ傍に來ています。

S・U

「とけいそう」は清水コミュニティセンターのパソコン教室を終了した有志で、

もつとパソコンの奥深さを学びたいという希望を持ち、昨年10月にたちあげました。

2月・3月は人員不足でセンターが使用できず残念ながら休止しています。

でもこの会報は個々に記事を持ち寄って集まり発行にこぎつけました。

今4月からの活動再開に向けV G 槻輪の大岡先生のご指導、ご協力を得てうこきだしています。

勉強会として再出発し、パソコンの面白さをもっと感じていけたらいいかなと思っています。

一緒にやってみようと思われる方はどうぞご入会下さい。

いつでも歓迎です。